

「第6回東アジア地方政府会合」を開催しました。

東アジア各地方政府の代表が、地域の実情や課題を報告し合い、共通する課題の解決に向けて議論を行う「第6回東アジア地方政府会合」を開催しました。

- 日 程 平成27年10月25日(日)～ 27日(火)
実務者討議、首長討議、基調講演、分科会等報告、代表記者会見、
交流会、正倉院展などエクスカーショ
- 会 場 ホテル日航奈良、ホテルグランヴィア大阪
- 討議テーマ 地方政府に共通する課題として、「観光による地域経済の振興」、「まちづくり、地域づくり」、「農業・農村振興」の3つのテーマについて、それぞれ、山田桂一郎氏、後藤健市氏、高木勇樹氏を講師として、グループ討議を実施。
- 参加者 6か国42地方政府（会員数 7か国68地方政府）
（中国6、インドネシア2、マレーシア1、韓国6、ベトナム2、日本25）
※上記のほか、ゲストとしてケソン市（フィリピン）が参加。



会議風景



記念撮影

○全体概要

- ・ 開会式では、（一財）地方自治研究機構会長の石原信雄氏の来賓挨拶の後、中国旅遊研究院院長の戴斌（ダイビン）氏から「中国人観光客から見た奈良、中国人観光客を奈良へ誘致する好機」と題した基調講演、三重県から「インバウンドの促進」をテーマに8月に開催された「地域別分科会」の報告、韓国忠清南道から本会合の関連フォーラムとして9月に開催された「2015 東アジア地方政府三農フォーラム」の報告が行われました。



開会式（知事）



基調講演（戴斌氏）



地域別分科会報告（三重県）



関連フォーラム報告（忠清南道）

- ・ 26日午前中の実務者討議では、各地方政府が、3つのグループに分かれ、各討議テーマに関する取組事例を紹介したリージョナルレポートに基づき事例発表を行い、講師の進行により、質疑応答、意見交換を行いました。
- ・ 同日午後からの首長討議では、冒頭に、各テーマ担当講師から導入スピーチが行われた後、午前の実務者討議での事例発表や議論を踏まえて、活発に意見が交わされ、各行政課題の解決に向けた議論を深めました。



討議風景

- ・ その他、会場ロビーでは「富有柿」を参加者に振る舞い、県産柿のPRを行いました。
- ・ 27日には、エクスカーションプログラムとして、正倉院展、興福寺国宝館を観覧しました。なお、参加者の誘導、案内等、畝傍高校生にもお手伝い頂きました。



「富有柿」PRコーナー



エクスカーション（正倉院展ほか）